

第 88 期
事業報告書

平成 16 年 4 月 1 日から
平成 17 年 3 月 31 日まで



シロキ工業株式会社



Top Message

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととご拝察申し上げます。

当社第88期（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）の営業を終了いたしましたので、その概要につきましてご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、期前半において緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、期後半からは米国や中国を中心に世界経済が減速し、これに原油高の影響も加わったため、景気を牽引していた輸出や設備投資に陰りが見られ始め、本格的な景気回復には至らぬまま推移いたしました。

自動車業界におきましては、軽自動車前期に引き続き新型車効果により堅調に販売を伸ばしました。しかしながら、小型乗用車が期後半から新型車攻勢をかけたものの、期前半の落ち込みを挽回できず、またトラックも排出ガス規制強化による特需の反動により大幅に減少したため、国内新車販売は前年実績を下回るものとなりました。一方、輸出は現地生産拡大による北米向けと中国の景気引き締めなどの影響によるアジア向けが低迷したものの、欧州・中南米向けなどが増加したため、好調に推移し、国内生産も国内販売不振の影響を受けたものの、輸出に支えられ、堅調に推移しました。自動車メーカーにおきましては、グローバル化の進展により海外現地生産が拡大し、これに伴い国際競争力も激しさが増大し、同時に、自動車部品業界も国際市場を視野に入れた部品の供給体制構築と原価低減が迫られ、また受注競争も一段と厳しさが増すなど、大変厳しい環境となりました。

こうした経営環境のなか、当社では引き続き収支改善活動に取り組み、総原価低減に努めるとともに、当期を将来の更なる成長を目指す基盤構築の年として、積極的に構造改革と先行投資に取り組み、生産体制の効率化・製品のグローバル供給体制構築のほか、高品質・高機能・低コストの「世界No.1製品づくり」によるシロキブランド向上に努め、国際競争力の強化をはかりました。

製品開発におきましては、アルミ素材を使用した「アルミドアサッシ」や新機構を採用した「8ウエイパワーシート」「後方格納シート」など、主力製品の高付加価値化と競争力強化をはかった製品を開発し、ニーズに対応した魅力ある製品として、納入先の自動車メーカーから高い評価を頂きました。

国内におきましては、構造改革の一環として生産拠点の見直しを行い、昨年8月に宇和島シロキ株式会社（愛媛県宇和島市）の工場を閉鎖し、生産体制の効率化を進めました。一方九州シロキ株式会社（福岡県北九州市）では、得意先の生産拡大に対応するため、今春より第2工場併設の準備を開始し、生産体制の強化をはかりました。

海外におきましては、中国の生産拠点として広州白木汽車零部件有限公司（中国・広東省広州市）が本年4月より操業を開始し、日系自動車メーカーの現地生産に対応するとともに、今秋にはプレス部品を生産するプレス棟を増設し、ドアサッシとウインドレギュレータの一貫生産をはかります。また昨年11月に中国事業の効率化と競争力強化をはかるため、昆山白木汽車零部件有限公司（中国・江蘇省昆山市）の解散を決定し、広州白木汽車零部件有限公司に経営資源を集中させることといたしました。タイでは、シロキタイランド株式会社（タイ国・アマタナコン市）が昨年9月より得意先自動車メーカーの世界戦略車の現地生産開始に伴い生産を拡大し、ASEAN地区での生産体制を強化するとともに、設立3年目で単年度黒字化を達成しました。主力の北米では、好調な

販売が続く日系自動車メーカーからの受注増に対応すべく、第3の北米生産拠点構築について検討を進めております。

非自動車部品分野のシート事業におきましては、拡販活動に取り組むとともに、原価低減をはかり、収支改善に努めました。

こうした結果、当期の業績につきましては、売上高は915億7千3百万円（前期比2.1%増）となりました。利益につきましては、全社をあげて徹底した合理化活動に取り組み収益改善に努めたものの、中国生産拠点立ち上げや新製品開発に伴う先行費用の増加、および原材料価格高騰などの影響により、営業利益は27億1千8百万円（前期比24.3%減）、経常利益は30億5千4百万円（前期比19.5%減）となりました。また特別損益では宇和島シロキ株式会社の工場閉鎖に伴う構造改革費用や退職給付費用、固定資産除却損などを計上し、この結果、当期純利益は10億2千6百万円（前期比15.5%減）となりました。

今後の見通しにつきましては、世界経済の着実な回復に伴って、輸出の回復と生産の持ち直しが期待され、景気の回復は底堅く推移するものと思われまます。しかしながら、原料・資源価格の上昇などの懸念材料もあり、景気は予断を許さない状況が続くと予想されます。

自動車業界におきましては、新型車投入やモデルチェンジにより、市場の活性化が期待されますが、原油価格高騰によるガソリン値上げの影響や社会保険料の負担増などの先行き不安から消費者心理が冷え込み、本格的な市場回復には至らないものと思われまます。このような状況の下、自動車部品業界におきましては、加速する自動車メーカーの海外現地生産拡大や部品の世界調達に対し、より早的確な対応をとるとともに、より一段と国際競争力の強化が迫られる厳しい状況が続くと予想されます。

当社といたしましては、経営の効率化と企業体質の更なる強化とともに、世界4極市場への対応を万全なものとするべく、グローバル供給体制の加速、およびそれを支えるバックアップ体制の確立、そしてグローバルコスト競争力の構築とブランド力の定着に取り組み、総力をあげて世界競争に勝ち残りをはかってまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月



取締役会長

木場 隼司



取締役社長

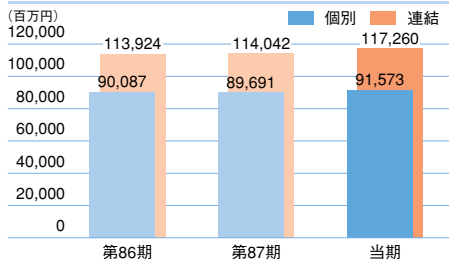
伊地 知舜一郎



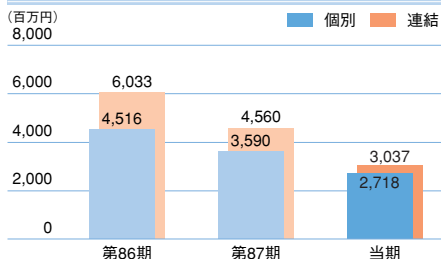
Financial Data

財務データ

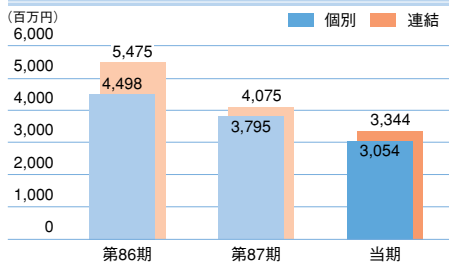
売上高の推移



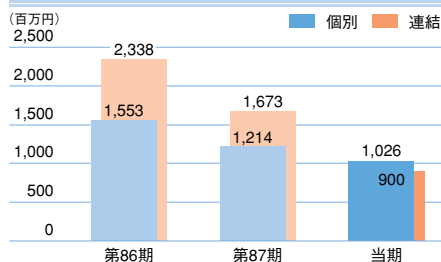
営業利益の推移



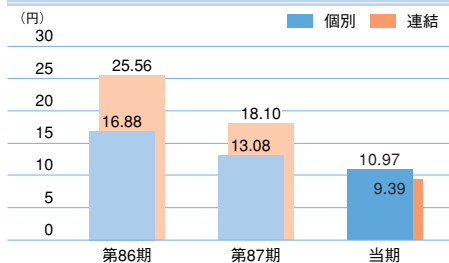
経常利益の推移



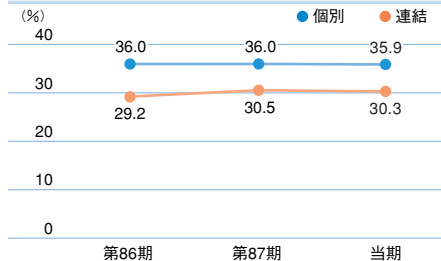
当期純利益の推移



1株当たり当期純利益の推移



株主資本比率の推移





Our Products

製品紹介



ドアサッシ

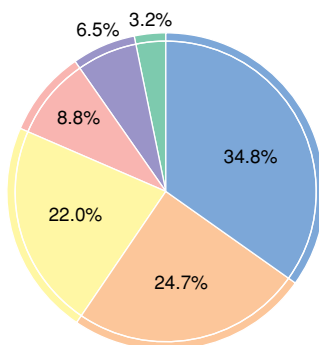


ロック&ヒンジ



モールディング

製品別売上高比率



シートリクライナ・シートアジャスタ



ウインドレギュレータ

- シートリクライナ・シートアジャスタ
- ウインドレギュレータ
- ドアサッシ
- ロック&ヒンジ
- モールディング
- その他

TOPICS

広州白木自動車零部件有限公司(中国)で竣工式

2005年3月8日、中国現地生産子会社の広州白木自動車零部件有限公司（本社：広州市広州経済技術開発区永和区）の本社工場の竣工式を執り行いました。

広州白木自動車零部件では、4月より日産自動車㈱の現地合弁会社である東風汽車有限公司向けに、ドアサッシとモールディングの生産を開始し、2006年半ばからは、トヨタ自動車㈱の現地合弁会社である広州トヨタ自動車有限会社向けに、ドアサッシ、ウインドレギュレータおよびモールディングなどを生産する予定です。同社では、生産拡大に対応するため今秋プレス部品を生産するプレス棟を増設いたします





Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目	当 期 (平成17年3月31日)	前 期 (平成16年3月31日)	科 目	当 期 (平成17年3月31日)	前 期 (平成16年3月31日)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	31,712	31,027	流動負債	31,566	31,595
現金及び預金	4,843	5,692	支払手形及び買掛金	19,251	17,609
受取手形及び売掛金	19,667	18,311	短期借入金	4,639	5,852
棚卸資産	4,068	4,075	一年以内返済の長期借入金	221	462
前払費用	140	164	未払金	265	17
繰延税金資産	783	815	未払法人税等	767	1,131
未収入金	1,412	1,292	未払費用	1,911	1,839
その他	802	680	賞与引当金	1,234	1,300
貸倒引当金	△ 6	△ 5	設備関係支払手形	83	91
固定資産	44,929	44,729	設備関係未払金	2,662	2,525
有形固定資産	37,225	37,437	その他	528	765
建物及び構築物	7,191	7,120	固定負債	21,745	21,024
機械装置及び運搬具	20,544	20,550	長期借入金	14,438	14,666
工具器具備品	5,011	4,825	退職給付引当金	5,886	4,772
土地	3,015	3,004	役員退職慰勞引当金	202	212
建設仮勘定	1,461	1,935	繰延税金負債	55	57
無形固定資産	826	608	長期未払金	1,157	1,313
ソフトウェア	714	463	その他	5	2
その他	112	144	負債合計	53,311	52,620
投資その他の資産	6,877	6,684	(少数株主持分)		
投資有価証券	1,069	1,184	少数株主持分	87	49
長期貸付金	177	323	(資本の部)		
繰延税金資産	5,039	4,517	資本金	7,460	7,460
その他	673	767	資本剰余金	9,699	9,699
貸倒引当金	△ 82	△ 108	利益剰余金	6,541	6,151
繰延資産	-	3	株式等評価差額金	127	185
創立費	-	3	為替換算調整勘定	△ 546	△ 364
資産合計	76,642	75,759	自己株式	△ 38	△ 42
			資本合計	23,242	23,089
			負債・少数株主持分及び資本合計	76,642	75,759

■連結損益計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目		当 期 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)		前 期 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)	
経 常 損 益 の 部	◆営業損益の部◆				
	営業収益				
	売上高		117,260		114,042
	営業費用				
	売上原価	105,339		101,839	
	販売費及び一般管理費	8,883	114,223	7,642	109,481
	営業利益		3,037		4,560
	◆営業外損益の部◆				
	営業外収益				
	受取利息・配当金	33		32	
	設備売却益	647		540	
	その他の収益	196	877	161	733
	営業外費用				
	支払利息	227		406	
為替差損	114		733		
その他の費用	228	570	79	1,218	
経常利益		3,344		4,075	
特別損益の部	特別利益				
	工場立地助成金	47		73	
	その他の特別利益	16	64	132	205
	特別損失				
	退職給付費用	1,139		750	
	固定資産除却損	507		162	
	製品補償費	-		384	
	その他の特別損失	84	1,731	161	1,457
	税金等調整前当期純利益		1,676		2,823
	法人税、住民税及び事業税		1,235		1,867
法人税等調整額		△ 452		△ 719	
少数株主利益 (△は少数株主損失)		△ 6		2	
当期純利益		900		1,673	

■連結剰余金計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目		当 期 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)		前 期 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)	
(資本剰余金の部)					
資本剰余金期首残高			9,699		9,699
資本剰余金期末残高			9,699		9,699
(利益剰余金の部)					
利益剰余金期首残高			6,151		5,210
利益剰余金増加高			900		1,673
利益剰余金減少高					
配当金	444			666	
役員賞与金	66	510		65	732
(うち監査役賞与)	(6)			(6)	
利益剰余金期末残高			6,541		6,151



Non-Consolidated Financial Statements

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目	当 期 (平成17年 3 月31日)	前 期 (平成16年 3 月31日)	科 目	当 期 (平成17年 3 月31日)	前 期 (平成16年 3 月31日)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	26,910	30,016	流動負債	25,888	25,995
現金及び預金	2,518	3,103	支払手形	7	6
受取手形	980	1,274	買掛金	16,869	15,632
売掛金	15,961	17,098	短期借入金	2,800	3,900
製 品	955	811	未払金	259	9
原 材 料	837	775	未払消費税	29	226
仕掛品	585	620	未払法人税等	635	1,074
貯 蔵 品	4	4	未払費用	1,155	1,152
前払費用	85	99	預り金	59	49
繰延税金資産	705	735	賞与引当金	1,125	1,141
未収入金	2,279	4,473	設備関係支払手形	83	89
短期貸付金	2,412	1,252	設備未払金	2,808	2,649
その他の流動資産	14	12	その他の流動負債	54	64
貸倒引当金	△ 431	△ 243	固定負債	20,577	19,452
固定資産	45,584	41,001	長期借入金	14,000	14,000
有形固定資産	28,758	29,352	退職給付引当金	5,787	4,531
建 物	3,928	4,089	役員退職慰労引当金	198	212
構 築 物	634	628	その他の固定負債	591	708
機械及び装置	15,845	16,492	負債合計	46,466	45,448
車両及び運搬具	9	12	(資本の部)		
工具器具及び備品	4,854	4,611	資本金	7,460	7,460
土 地	2,424	2,405	資本剰余金	9,699	9,699
建設仮勘定	1,062	1,112	資本準備金	9,699	9,699
無形固定資産	761	545	利益剰余金	8,832	8,301
ソフトウェア	695	454	利益準備金	1,327	1,327
その他の無形固定資産	65	91	任意積立金	4,855	4,509
投資その他の資産	16,065	11,103	圧縮記帳積立金	59	64
投資有価証券	972	1,065	別途積立金	4,795	4,445
子会社株式	3,976	2,888	当期末処分利益	2,649	2,465
長期貸付金	4,413	1,509	株式等評価差額金	75	134
長期前払費用	3	4	自己株式	△ 38	△ 26
繰延税金資産	4,905	4,411	資本合計	26,028	25,569
その他の投資	1,843	1,297	負債・資本合計	72,495	71,017
貸倒引当金	△ 50	△ 74			
資産合計	72,495	71,017			

損益計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目		当 期 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)		前 期 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)	
経常 損益 の 部	◆営業損益の部◆				
	営業収益				
	売上高		91,573		89,691
	営業費用				
	売上原価	80,112		77,843	
	販売費及び一般管理費	8,742	88,855	8,257	86,101
	営業利益		2,718		3,590
	◆営業外損益の部◆				
	営業外収益				
	受取利息・配当金	104		58	
	その他の収益	502	607	575	634
	営業外費用				
	支払利息	136		299	
	その他の費用	135	272	129	429
経常利益		3,054		3,795	
特別 損益 の 部	特別利益				
	前期損益修正益	5		-	
	販売補償戻入益	4		-	
	ゴルフ会員権売却益	2		-	
	貸倒引当金戻入益	-		198	
	その他の特別利益	0	12	-	198
	特別損失				
	退職給付費用	658		660	
	固定資産除却損	493		161	
	貸倒引当金繰入額	187		243	
	製品補償費	-		364	
	子会社株式評価損	-		200	
	その他の特別損失	57	1,397	103	1,732
税引前当期純利益		1,669		2,260	
法人税、住民税および事業税		1,068		1,764	
法人税等調整額		△ 425		△ 718	
当期純利益		1,026		1,214	
前期繰越利益		1,845		1,472	
中間配当金		222		222	
当期未処分利益		2,649		2,465	

利益処分

(単位：円)

科 目	金 額
当期未処分利益	2,649,478,704
圧縮記帳積立金取崩額	3,989,288
計	2,653,467,992
これを次のとおり処分いたします。	
利益配当金 (1株につき2円50銭)	222,096,917
取締役賞与金	45,000,000
監査役賞与金	6,800,000
別途積立金	260,000,000
次期繰越利益	2,119,571,075

(注) 1. 平成16年12月8日に222,164,677円(1株につき2円50銭)の中間配当を実施いたしました。
 2. 配当金は当期末の発行済株式総数から自己株式(164,857株)を除いて計上しております。
 3. 圧縮記帳積立金の取崩しは租税特別措置法の規定に基づくものであります。

以上の連結および個別の計算書類につきましては、会計監査人および監査役会の監査を受けたものであります。



Stock Information & Board of Directors

株式の状況（平成17年3月31日現在）

①株式の状況

発行済株式総数	89,003,624株
株主数	7,747名

②大株主の状況（上位10名）

①東京急行電鉄株式会社	25,422千株 (28.56%)	⑥日本生命保険相互会社	1,922千株 (2.16%)
②トヨタ自動車株式会社	15,067千株 (16.93%)	⑦株式会社豊栄商会	1,833千株 (2.06%)
③日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,683千株 (4.14%)	⑧シロキ工業従業員持株会	1,707千株 (1.92%)
④三菱信託銀行株式会社	3,559千株 (4.00%)	⑨日本ラスティサービス信託株式会社(信託口)	1,268千株 (1.42%)
⑤シロキ工業持株協力会	2,040千株 (2.29%)	⑩住友生命保険相互会社	1,222千株 (1.37%)

(注) () 内は持株比率を表示しております。

役員 の 状況（平成17年6月28日現在）

※取締役会長	木場 軍 司	取締役	大和田 晃
※取締役社長	伊地知 舜一郎	取締役	小橋 賢 司
※専務取締役	西川 光 昭	取締役	佐竹 史 郎
※専務取締役	大城 英 行	取締役	大橋 敦 志
常務取締役	各務 紘 之	取締役	上條 清 文
常務取締役	橋間 義 郎	取締役	落合 和 雄
常務取締役	佐野 良 夫	常勤監査役	永石 浩
常務取締役	後藤 和 行	常勤監査役	古川 俊 雄
		監査役	豊田 章 男
		監査役	山田 匡 通

(注) 1. ※印は代表権を有する取締役であります。
 2. 取締役のうち、上條清文および落合和雄の両氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。
 3. 監査役のうち、古川俊雄、豊田章男および山田匡通の各氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。



Information

配当金を現払いにて受領されている株主様へ

配当金の口座振込のおすすめ

株主様ご指定の金融機関（銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農業協同組合）の預金口座または郵便貯金口座にて直接配当金をお受け取りいただけます。

この方法を採用されますと、それ以後はご指定の口座にて自動的に配当金をお受け取りいただけますので、ご利用されることをおすすめいたします。

ご変更手続き用紙のご請求ならびにご不明な点は下記までご照会下さいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先

〒171-8508

東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
三菱信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル：0120-707-696（土日祝除く 9：00～17：00）

（配当金振込指定書等の各種お手続き用紙のご請求）

フリーダイヤル：0120-86-4490 音声自動応答（24時間受付）

●株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金支払株主確定日	3月31日
基準日	中間配当実施の場合の株主確定日は9月30日 定時株主総会において権利を行使すべき株主は、毎年3月31日の最終の株主名簿（実質株主名簿を含む）に記載または記録された株主といたします。 その他必要ある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告して定めます。
公告掲載新聞	日本経済新聞 (貸借対照表および損益計算書は当社ホームページに掲載しております。) アドレス： http://www.shiroki.co.jp/kessan/index.html
株式名義書換代理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ) (郵便物送付先)	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル：0120-707-696 各種変更用紙のご請求は次のフリーダイヤルをご利用下さい。 フリーダイヤル：0120-86-4490
同事務取次所 上場証券取引所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店 東京・名古屋（市場第1部） (証券コード：7243)

当社の企業情報はホームページでもご提供しております。



アドレス：<http://www.shiroki.co.jp>

[主要なコンテンツ]

- IR情報
- 会社案内
- 製品紹介
- ニュースリリース
- 貸借対照表・損益計算書